

2021/05/27 久喜市立久喜小学校

「イノベーション力の育成」に向けて 今後の課題

文教大学教育学部

浅野信彦

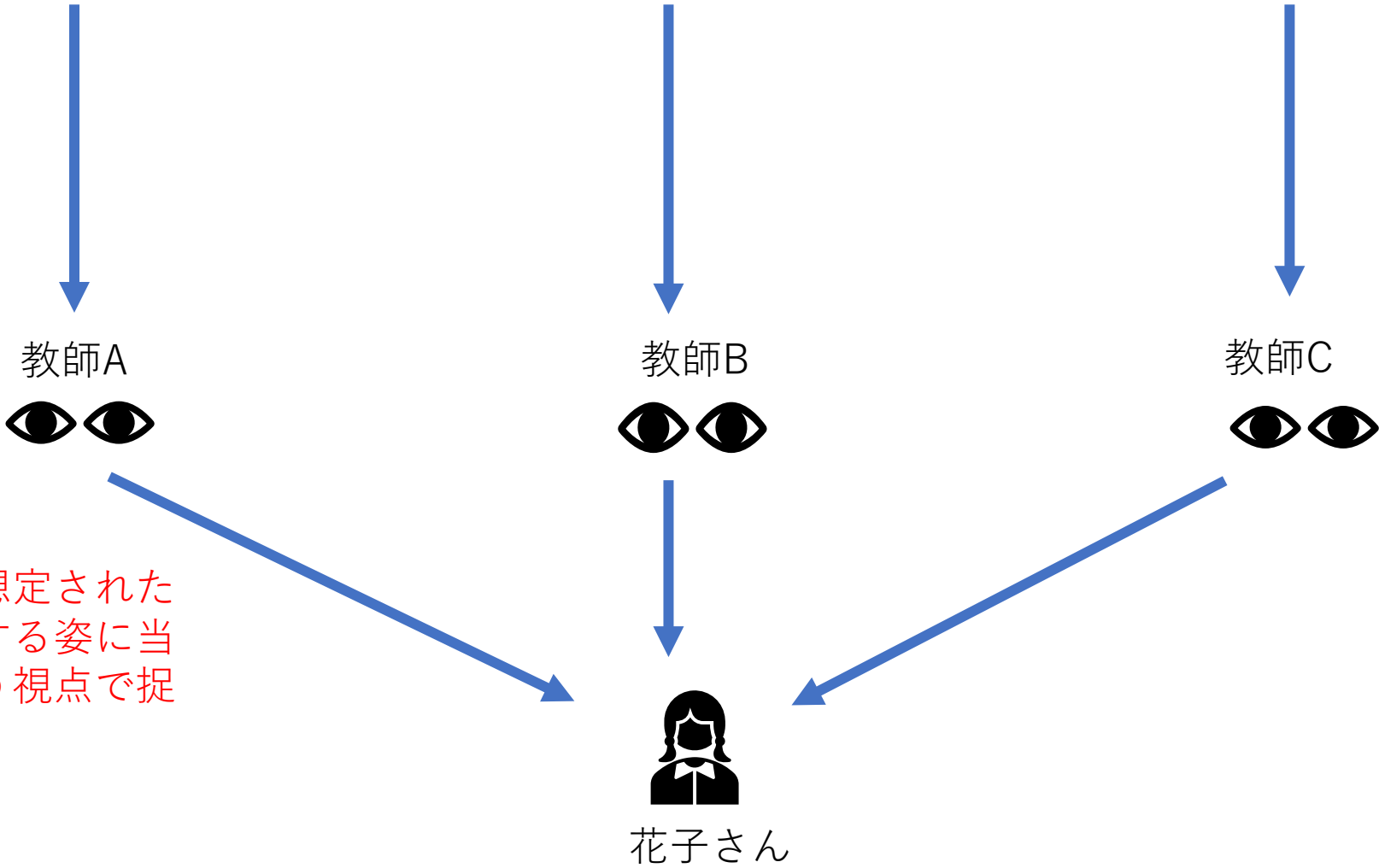
日本カリキュラム学会第32回琉球大学Web大会（6/26・27日）
共同研究発表（飯岡・浅野） 要旨原稿より

最後に本実践の課題を述べる。第一に、「大単元構想」の成熟化を図ることである。校内に教科横断的な単元開発の蓄積が薄い
ためか「魅力的な問い」を生かし切れていない場面が少なからず
あった。第二に、「大単元構想」を含む年間計画を実践の展開に
応じて修正するための振り返りの場を定期的に設けることである。
第三に、単元計画で予想した「ストーリー」が実際にはどうなっ
たのかを実践記録として記述し、それを教師相互に批評し合うな
どの方法で、より長期的に「イノベーション力」を高めていく子
どもの姿を確かめることである。 （浅野信彦）



授業者

本時では創造的な思考を育みたい！



子どもを「事前に想定された創造的思考を発揮する姿に当てはまるか」という視点で捉えてしまう。



授業者

本時では創造的な思考を育みたい！

花子さんらしさが表れていて素敵だな！

教師A



どんなことを考えているのかな？どうしたいのかな？

教師B



なぜこうするのか？どんなことに困っているのかな？

教師C



事前に設定した評価規準にとらわれず、それぞれの教師は自らの「**実践知**」と「**センス**」を頼りに、多様な視点から子どもの姿を捉える。



花子さん

花子さんはこんな工夫をしていたよ！花子さんらしさが表れていて素敵だなと思ったよ！

だけど花子さんは〇〇とつぶやいていたよ！振り返りには△△と書いていたよ！もしかすると、〇△×と考えていたんじゃないかな？

そういえば、あのとき、花子さんはいったん手を止めて太郎君に助けを求めていたよ。△□に困っていたんじゃないかな？

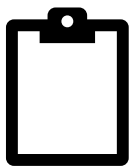


なるほど、なるほど～

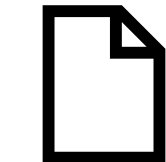
子どもの発言
つぶやき



子どもの作品
パフォーマンス

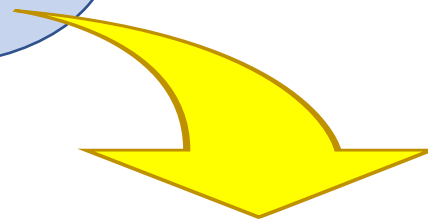


多様な子どもの姿



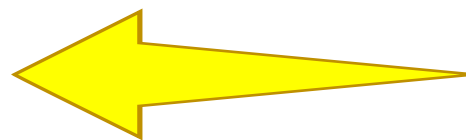
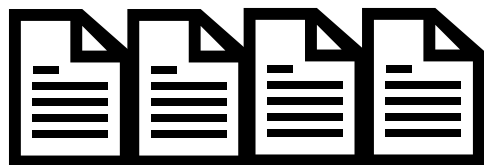
ノート
ワークシート

授業を見つめなおしてみよう！
花子さんは？
太郎君は？
歩さんは？
智彦君は？
私の働きかけは適切だった？



実践の振り返り
を記録して
おこう

実践の振り返りを読み直
してみるとAさんにはこ
んな変容が見られたよ！
これって創造的思考が
育っているということだ
よね？



こうして、資質・能力を発揮していく子
どもの姿を学校全体で共有していく。